

葉山ヨットクラブの皆様

私たち浅生重捷、梨里がs / v N i r a iで2005年6月4日に葉山を出発して以来早や7年の月日が経ちました。アラスカ、カナダ西岸、米国西岸、メキシコ、コスタリカを経てパナマ運河、コロンビア、ホンジュラス、メキシコ、キューバ、ジャマイカ、バハマ、そして米国東岸、メインからアイルランド、イングランド、オランダ、ベルギー、フランス、スペイン、ポルトガルさらに地中海のスペイン、イタリア、クロアチア、ギリシャを巡りソマリアの海賊問題でスエズからインド洋へのルートを諦め、マルタ、チュニジア、ジブラルタルからグランドカナリィーを経て再びカリブの海へトリニダード・トバゴ、ベネゼラ、コロンビア、パナマ、また太平洋を渡りマーケサス、タヒチ、クック諸島、サモア、トンガ、フィジー、ニュージーランド、ニューカレドニア、バヌアツ、オーストラリア、さらにインドネシアラリーに参加してのシンガポールへの航海、マレーシア、タイ、フィリッピン、台湾を経て沖縄宜野湾で再入国するまで実に39か国の当初は思いもしない長い旅もここ大分のマリンピアむさし（大分空港のすぐ隣）で幸いにもN i r a iを使って長距離航海をしたいという方に巡り合い船を譲渡すると共に航海を終えました。

このような長い航海を怪我も病気もさらに喧嘩もせずに私たちのような未熟者が達成出来たのは葉山のクラブの皆様の準備段階からの厚いバックアップがあったからと深く感謝しています。

今思い返すとアラスカ、米国西岸、バハマ、を始め数々の所でクラブのメンバーやヨット仲間が遊びに来て呉れた事がどれほど楽しみで、勇気付けられたことが、言葉には表せません。

本来であればs / v N i r a iと共に葉山の港を訪れ皆様に感謝の意を表すべき所ですが先に述べたようにs / v N i r a iは人手に渡ることとなり其れも叶いません。

いずれ港に行き個々にお礼を申し上げる所存ですが、まずはメールにてお礼を申し上げます。

2012年7月15日

浅生重捷、梨里